

Immediate Press Release 2013.6.25

アートがあればⅡ 9人のコレクターによる個人コレクションの場合

Why not live for Art? II
9 collectors reveal their treasures

謹啓 初夏の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は東京オペラシティアートギャラリーの展覧会活動に対して格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東京オペラシティアートギャラリーでは、2013年7月13日〔土〕より「アートがあればⅡ — 9人のコレクターによる個人コレクションの場合」を開催いたします。

2004年に開催した展覧会「アートがあれば」は、当時注目を集めはじめた個人コレクションに焦点を当て、コレクションのあり方やコレクター像、さらにはアートと共に暮らすライフスタイルから浮かび上がるアートの魅力を探りました。その後10年足らずの間に、個人がアート作品を購入することはより一般的になりました。欧米に比べればまだまだコレクターの数は少ないものの、アートは「見るだけのもの」から「買えるもの」に変わりつつあるといえるでしょう。

では、いったいなぜアート作品を購入するのでしょうか？ そもそもコレクションをする理由とは何でしょうか？ 何か特別なルールはあるのでしょうか？

本展は、次世代ともいえる新たな9人のコレクターたちのコレクションを通じて、こうした問いかけの答えを探ります。日本および海外の人気作家や新進作家の作品の数々、また、ユニークなその取り合わせに、通常の展覧会とは異なる、個人コレクターならではのすぐれた審美眼や独自の感性を感じていただけることでしょう。また、たんなる個人的収集にとどまらないアートコレクションの可能性や、これからのアートシーンのなかでコレクターが果たす新たな役割について考える機会ともなるでしょう。

つきましては、この「アートがあればⅡ — 9人のコレクターによる個人コレクションの場合」を貴媒体で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

[開催概要]

展覧会名： アートがあればⅡ — 9人のコレクターによる個人コレクションの場合
 会期： 2013年7月13日〔土〕 — 9月23日〔月・祝〕
 会場： 東京オペラシティアートギャラリー
 開館時間： 11:00 — 19:00（金・土は20:00まで／最終入場は閉館の30分前まで）
 休館日： 月曜日（祝日の場合は翌火曜日）8月4日〔日・全館休館日〕
 入場料： 一般1,000（800）円／大・高生800（600）円／中・小生600（400）円

- * 同時開催「収藏品展045 色について—寺田コレクションより」、「project N 53 池平徹兵」の入場料を含みます。
- * 収藏品展入場券200円（各種割引無し）もあり。
- * （ ）内は15名以上の団体料金。その他、閉館の1時間前より半額、65歳以上半額。
- * 土・日・祝日および夏休み期間（7/13—9/1）は毎日中・小生無料。
- * 障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ： 03-5777-8600（ハローダイヤル）
 ウェブサイト <http://www.operacity.jp/ag/>

主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団
 協賛： ジャパンリアルエステイト投資法人
 会場構成： イシダアーキテクツスタジオ

■本リリースに関するお問い合わせ

東京オペラシティアートギャラリー 【展覧会担当】 堀 【広報担当】 吉田

Tel:03-5353-0756 / Fax:03-5353-0776 / Email:ag-press@toccf.com

ARTGALLERY
TOKYO OPERA CITY

展覧会の見どころ

アート作品のコレクションといえば、すぐに思い浮かぶのは美術館のコレクションです。それは、ある一定の収集方針に基づき、作家に対する評価や作品の特性なども考慮した客観的な観点から決定され、そのため良くも悪くもバランスがとれたものになりがちです。美術館が社会的な施設であること、また、多くの人々に作品を公開する役割を担っていることもコレクションの性格を形作る要因のひとつです。それに対して、個人コレクションは、広く公開することを前提とせず、そのコレクターの主観や興味が色濃く反映されるため、思いがけない作品の取り合わせが実現します。意外な作品同士の組み合わせは、異質なものを組み合わせるパーソナルな面白さでもあり、これまで見逃していた作品がもつ別の一面を垣間見せてくれるでしょう。

また、個人コレクションというと、自宅のインテリアの一部として「きれいなもの」「わかりやすいもの」が選ばれそうですが、今回ご紹介する9人の個人コレクターはそれぞれ独自の基準と視点で作品を選んでいるのが特徴です。美術館での展覧会に貸し出される作品がある一方、扱いに困るような大きさのものや、一見ただの紙切れのようなもの、中には作家の考え方や行動を作品化し、所有することが難しいものもあります。どうしてこの作品をわざわざ購入したのか？ そんな疑問すら湧いてくるかも知れません。しかし、それこそがその人にとってかけがえのない“アートの魅力”を雄弁に物語っているに違いありません。

「コレクション＝蒐集」の意図には、集める、所有するという以外に、作家を支援することや、作家との作品の共同制作、あるいは価値や情報の交換などの意味も含まれます。多様化する現代アートは、新しいコレクターを生んでいるとも言え、また逆に新しいコレクターが現代アートの多様性をもたらしていると言えるでしょう。

近年、アートフェア（作品の展示即売会）が各地で開催されるなど、個人が現代アートの作品を購入することはめずらしくなくなりましたが、果たして購入資金さえあれば誰でもコレクターになれるのでしょうか。作品との出会いや、コレクションに至る経緯はさまざまです。プロとアマチュアという区別は、アーティストにはよく言われますが、コレクターの中にもプロと呼びたくなるような、並はずれた審美眼をもつ人がいます。現代アートが「見るだけのもの」から「買えるもの」になった今、あらためて個人コレクションの意味と、変化しつつある新たなコレクター像を探っていきます。

●出品コレクター / 出品作品介绍

9名の個人コレクターの名前は匿名で、会場内では姓名のイニシャル等でコレクション名を表記しています。
(約120作家、全190作品予定)

A.K. collection

青山悟／荒木経惟／細江英公／小村希史／ライアン・マッギンレー／森山大道／中平卓馬／大野智史／佐伯洋江／須田一政／志賀理江子／山川冬樹



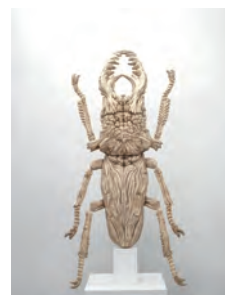
細江英公 HOSOE Eikoh
《抱擁 #28》1970
courtesy of TOKI-NO-WASUREMONO



小出ナオキ KOIDE Naoki
《Devil on elephant》2010
©KOIDE Naoki courtesy of TOMIO KOYAMA GALLERY



八木良太 YAGI Lyota
《VINYL》2006 ©YAGI Lyota
courtesy of MUJIN-TO Production
photo: FUKUNAGA Kazuo



西尾康之 NISHIO Yasuyuki
《トランスフォーム - 2》2004
courtesy of YAMAMOTO GENDAI
photo: KIOKU Keizo

E.Y. collection

雨宮庸介/トーマス・デマンド/春木麻衣子/伊藤彩/柏原由佳/小出ナオキ/
近藤亜樹/桑久保徹/桑田卓郎/ロバート・メイプルソープ/ライアン・マッギンレー/
村上隆/奈良美智/大谷工作室/アダム・シルヴァーマン/田中圭介/山本桂輔

K.N. collection

リチャード・オードリッチ/安藤正子/ジョシュ・ブランド/ヴァルダ・カイヴァーノ/
シャギャーン/千葉正也/マルセル・ザマ/ファergus・フィーリー/ジェラティン/
フェデリコ・エレロ/ネイサン・ヒルデン/ポール・ジョンソン/桑田卓郎/ライアン
・マッギンレー/ヘレン・ファン・ミーネ/西尾康之/小谷元彦/スティーブン・G・
ローズ/スターリング・ルビー/田中秀和/ゲルト&ウーヴァ・トビアス/臼井良平

S.M. collection (One Piece Club)

藤本由紀夫/春木麻衣子/忽那光一郎/MASAKO/三宅砂織/ジャン＝リュック
・モーマン/蜷川実花/須藤絢乃/田口和奈/寺島みどり/津上みゆき/矢部奈桜子
/八木良太/山本桂輔/山本理恵子

T.S. collection

有馬かおる/ティム・バーバー/ヨーゼフ・ボイス/蛭子未央/ウィリアム・エグルストン
/平川恒太/池田衆/加賀美健/笠井麻衣子/前原冬樹/エドガー・マーティンズ
/森村泰昌/流麻二果/小沢剛/アーノルフ・ライナー/ジェイソン・テラオカ/
照屋勇賢/占部史人/ダーン・ヴァン・ゴールデン/和田真由子/アピチャップン・
ウィーラセタクン

NND collection

アントン・ヘニング/サイモン・フジワラ/マイク・ケリー/クリス・オフィリ/ジョージエ
・オズボルト/ライアン・ガンダー/アレック・ソス

Y.S. collection

千葉正也/Chim ↑ Pom/藤本由紀夫/東恩納裕一/泉太郎/金氏徹平/加藤翼
/木村友紀/喜多順子/小林正人/松江泰治/南川史門/宮本隆司/森田浩彰/
中原浩大/名和晃平/オル太/大崎のぶゆき/パラモデル/竹川宣彰/田中功起/
八木良太/山下麻衣+小林直人/指差し作業員/横山裕一

W.Y. collection

会田誠/ジャン・フォートリエ/橋本聡/南川史門/村上隆/曾根裕/五月女哲平
/田中功起

anonymous collection

西野達 ほか

●会場構成:イシダアーキテクツスタジオ

石田建太郎 (イシダアーキテクツスタジオ代表)

1973年生まれ。英国 AA スクールで建築を学び、2004-2012年スイスの建築設計事務所ヘルツォーク&ド・ムロンに在籍。同社アソシエイトとしてマイアミ美術館、トライアングル (パリの高層計画)、サンパウロ文化複合施設などのプロジェクトチームをリード。2012年10月にスイスから東京に拠点を移しイシダアーキテクツスタジオを設立。



小沢剛 OZAWA Tsuyoshi
《醤油画 (ロイ・リキテンシュタイン)》2012
courtesy of MISA SHIN GALLERY



サイモン・フジワラ Simon Fujiwara
《The Passions, Fig. XII》2012 ©Simon Fujiwara
courtesy of TARO NASU photo: KIOKU Keizo



田中功起 TANAKA Koki
《Someone's junk is someone else's treasure》2011
created with The Box, Los Angeles
courtesy of Koki Tanaka, Vitamin Creative Space,
Guangzhou, and Aoyama Meguro, Tokyo



会田誠 AIDA Makoto
《人間は考えてもしかたのない徴かもネ》
('みんなといっしょ' シリーズより) 2008
courtesy of MIZUMA ART GALLERY



西野達 Tatsu Nishi
《The Merlion Hotel》2011/2013
courtesy of ARATANIURANO

[関連企画]

●コレクター・トーク

2004年の「アートがあれば」出品のコレクターの方々にもご参加いただき、コレクター同士のトークを開催します。コレクションにまつわる秘話やコレクター同士ならではのユニークなトークが展開されることでしょう。

7月21日 [日] 14:00 - 15:30 高橋龍太郎氏×宮津大輔氏×吉野誠一氏

7月27日 [土] 14:00 - 15:30 榎本雄一氏×白木聡氏 *当初の予定から出演者が変更になりました。

- ・会場：東京オペラシティビル 7F 第1会議室
- ・定員：80名 [全席自由]
- ・参加費：無料（展覧会の入場は別料金）
- ・参加方法：11:00から東京オペラシティアートギャラリー受付にて整理券配布、おひとり1枚のみ。
13:45から会場（東京オペラシティビル7階）入口にて整列入場をお願いいたします。

●八木良太《VINYL》デモ演奏

S.M. collectionから出品されている八木良太作品《VINYL》。氷のレコードが実際にどんな音を奏でるかをお聴きいただけます。

- ・日程：7月13日 [土]、14日 [日]、15日 [月・祝]、20日 [土]
8月3日 [土]、10日 [土]、17日 [土]、24日 [土]、31日 [土]
9月7日 [土]、14日 [土]、21日 [土]、22日 [日]
- ・各日 14:00— ※いずれも数分間のデモ演奏となります。
- ・会場：東京オペラシティアートギャラリー
- ・参加費：当日の入場券が必要です。
- ・予約不要（当日の参加状況により、入場制限を行う場合があります。）

●山川冬樹「パ」日誌朗読会 ～「パ」のためのヘールシュピール～

自らが発声する「パ」という音節を、一人のアートコレクターに100万円で売却することで始まったパフォーマンス、『「パ」日誌メント』。この作品によって山川は、2011年1月1日より「パ」と発声することなく日々を生きてきました。展覧会「アートがあればII」では、「パ」の現在の所有者であるコレクターから元の所有者である山川へ、「パ」が一日限り返却され、「パ」と発声せずに生きる日々が綴られた日誌＝「パ」日誌を題材とした朗読会『「パ」のためのヘールシュピール』を上演します。

山川冬樹『「パ」日誌メント』ウェブサイト <http://pa-nisshi.net>

- ・日時：8月29日 [木] 19:30 -
- ・会場：東京オペラシティアートギャラリー
- ・参加費：当日の一般入場券 [一律1,000円] が必要です。
- ・参加方法：17:30より東京オペラシティアートギャラリー受付にて整理券配布、おひとり1枚のみ。
(夜間、学生、シニア割引およびArts友の会、身障者、中・小生無料は適用されません)
19:20よりギャラリー入口より整列入場をお願いいたします。

◎イベントの詳細はウェブサイトでお知らせいたします。

<http://www.operacity.jp/ag/exh154/>